



担い手を増やし、 園児への防災教室を開く

防災教育チャレンジプラン 最終報告会

地球防災隊
河田 のどか



地球防災隊とは？

- 活動目的: 防災の担い手を増やすこと
- 活動内容: 保育士を目指す学生と教材開発
幼稚園での防災教室の実施

- 設立: 2008年1月
- 設立メンバー: 5名
- 現在メンバー: 8名(2009年2月現在)



これまでの活動

- 園田学園大学附属学び丘幼稚園での防災教室の実施
(2008年9月9日・2009年1月)
- 頌栄短期大学での学生セミナーの実施
(2008年12月12日・19日)
- 兵庫県立舞子高校メモリアル行事分科会にて
地球防災隊の活動紹介
(2009年1月16日)
- ひまわりの夢企画・防災楽習迷路
防災マップの図案提供と参加
(2009年1月17日)

作った教材

- 紙芝居(2種類)
- 歌とダンス
- クイズ
- 手遊び
- 紙人形(3体)



紙芝居

ちゅーたと ふしぎなメロンパン



メロンパンが大好きなねずみのちゅーた。ある日、パンから出て来た妖精に、地震が来ることを知らされます。おいしいパンを焼いてくれるおじさんや、町の人を助けるためにちゅーたが大活躍するお話です！！

地震で被害に遭った人々は避難所へと向かいます。テレビのその様子を見ていた町のおにぎり屋さん。困っている人達のために、何かできることはないか？ そんな思いから握り始めたたくさんのおにぎり。そのおにぎりがいろいろな避難所へ届けられていくお話です。



ぐらぐら たいへんだ
 ぐらぐら じしんだよ
 ぐらぐら どうしよう
 さあ みんなで へんしんだ

みんなで まるくなろう
 もっと ちいさくなろう
 あたまに てをのせて
 ほら みんなで だんごむし



歌・ダンス
 手遊び





幼稚園での防災教室の実施

2008年9月9日

2009年1月13日




防災教室の目的

- 楽しく防災を学んでもらう
- 地震時の身の守り方を知ってもらう
- 地震後の町や家の様子を知ってもらう
- 阪神・淡路大震災のエピソードを知ってもらう
- 人の優しさを伝える

幼稚園での防災教室〈第1回目〉

- テーマ：『楽しく防災しよう！』
- 日時：2008年9月9日
- 対象：年長組2クラス・計74名の園児

- プログラム
 - 歌とダンス
 - 紙芝居『ちゅーたと不思議なメロンパン』
 - クイズ
 - 終了式



●終了式●
地球防災隊入隊証と
プログラムをプレゼント！！

先生からのフィードバック

▶ 歌とダンス

⇒ 歌詞の意味を伝えながら振り付けを見せてほしい
歌詞の意味を伝えて振付けを見せる

▶ 紙芝居

⇒ ラミネート加工は光を反射して見えにくい

⇒ 薄い色遣いだと遠くから絵が見えにくい

はっきりした色使いにする！！

▶ 次回の防災教室実施の際、内容を一新しない方が園児にとって復習になるので良い

1回目の内容を中心にしたプログラム構成にする



幼稚園での防災教室〈第2回目〉

- 『楽しく防災しよう！』
 - ＋ 阪神・淡路大震災のエピソードを紹介
- 日時：2009年1月13日
- 対象：年長組2クラス・計73名の園児

- プログラム
 - 手遊び
 - 紙芝居『こめたろう』
 - クイズ
 - 終了式

●終了式●
まもるんメダルと
手遊びの紙をプレゼント！！



先生からのフィードバック

▶ 手遊び

⇒プログラムとプログラムの間に取り入れたら、間がなくなっ
てよい

⇒園児が飽きないように、パターンを変える(男の子だけ・
女の子だけ など)

▶ クイズ

⇒園児の答えを、他の園児に投げかけて、みんなで考えさ
せるように掘り下げる

⇒情報を受け止める絵本と自分で表現するクイズを組み
合わせる全体の流れは良かった

▶ 前回の防災教室の復習にもなり、
新しい内容も組み込まれていて良かった



幼稚園の防災教室を終えて

- 園児はとても素直！

教えてもらったことは素直に受け取る
おもしろくなかったら、おもしろくないと言う

- 防災のことをよく知ってる！

阪神・淡路大震災が起こったこと
地震が起きたらどうしたらいいか など



保育士を目指す学生を対象とした 防災セミナーの実施

2008年12月12日

12月19日

**保育士を
目指す学生**

地球防災隊

学生セミナー

- テーマ:『楽しい遊びと少しの防災を・・・』
- 日時:2008年12月12日、19日
- 対象:頌栄短期大学1年生8名
- プログラム内容
 - 活動紹介 ・ 自己紹介ゲーム
 - 伝言ゲーム ・ クロスロード
 - 教材作成 ・ 手遊び
 - 紙芝居の紹介
 - 『ちゅーたと不思議なメロンパン』、「ぼうさいマン」



その後、
みんなで防災の手遊びを
考えました！！

地球陸上隊



書時、

活動

子どもが
考



ム

保育士と口指し学生



学生の感想

- またセミナーに参加したい！
- 保育に使える防災教材を作りたい！
- 防災を楽しめた！興味を持てた！！
- 工夫次第で誰でも防災に興味を持てる



1年の活動を通して



反省点

- 自分たちが伝えたいことを最優先していた
- 学生を集めることができなかった
- 上手く活動時間を作れなかった

今まで対象にしていた人は・・・

○ 防災が苦手

今回の活動では

- ・防災に興味がない
- ・防災を学ぶかを自分の意思で決められる
(授業などではない)

このような人が対象でした

防災に興味を持ってもらうために・・・

歌とダンス
+
防災

紙芝居
+
防災

保育
+
防災

主 役
みんなが
好きなもの

クイズ
+
防災

ゲーム
+
防災

手遊び
+
防災

防災を広めるために・・・

楽しい防災を紹介



楽しいことから始めることで、
『次も参加したい』と思ってもらえる

防災を伝えていくために・・・

相手(受け手)に防災を伝えること
と思ってもらえるように、

第四ステップ

相手(受け手)

防災を楽しむこと

それは、

防災に興味がなかった人が
防災に関わる最初のきっかけだと考えています


相手に
法を考えること

第一ステップ

自分自身(伝え手)が楽しむこと

これからのアクション

- 幼稚園での防災教室活動の継続
⇒ 来年度の幼稚園の年間行事の予定に
防災教室が組み込まれることが決定
- 保育士を目指す学生と1～2ヶ月に1回の
ペースで定期的に交流会を実施する
⇒ 防災と保育を合わせた教材の作成
- 児童館での防災教室を開催




防災を学ぶことが
『楽しい』
だけで絶対に終わらないように。

恐かったこと・辛かったこと・寂しかったこと
人の優しさ・人の強さ

私たちの阪神・淡路大震災の体験を伝えていけるように。

災害を地震に限定することなく、
台風 ・ 津波 ・ 洪水 ・ 地すべり …
いろいろな災害について、防災について知ってもらえるように。
そして、防災について一緒に考えてもらえるように。

一歩ずつ、少しずつですが、
これからも**チャレンジ**を続け
アクションを起こしていきます。



1年間、本当にありがとうございました



防災教育 チャレンジプラン

地球防災隊一同